

第8回

不登校・ひきこもり 支援者研修会

日時
会場

2020年

3月29日 日 10:00-16:00 (受付9:30～、昼休憩1時間)

お茶の水女子大学 共通講義棟1号館 304教室
(東京都文京区大塚2-1-1 「茗荷谷」駅より徒歩7分)

講演

「レジリエンスを育む」 浅井咲子

本研修では、今回出版された「レジリエンスを育むーポリヴェーガル理論による発達性トラウマの治癒」の内容を元に、こころの不調と回復を神経系の調整からアプローチする視点を学んでいきます。日本におけるこの分野の臨床実践のパイオニアの一人でもある浅井咲子さんを講師にお招きし、神経系をどう導き、適切に癒しを進めていくのに必要である様々なコンセプトを挙げ、愛着との関連についてわかりやすく説明していただきます。そして、発達性トラウマのみに限らず、ひきこもりや発達障がいや他の臨床にも応用できる「調整ベースアプローチ」を紹介していただきます。



講師

【プロフィール】

公認心理師、アート・オブ・セラピー代表、SE™認定上級グループコンサルタント。外務省在外公館派遣員としてロンドンにある日本国大使館に勤務。その後渡米し、カリフォルニア州のジョン・F・ケネディ大学院で、カウンセリング心理学修士号(身体心理学)取得。2005年に米国でソマティック・エクスペリエンス™療法に出会い、現在に至るまで、このトラウマ療法の普及に尽力。帰国後教育センター、企業内で相談員として勤務。2008年から私設セラピストとしてアート・オブ・セラピーというカウンセリングルームを主宰し(<http://www.aftoftherapy.net/>)、内的家族システム療法(IFS)、総括的リソースモデル(CRM)などの療法も取り入れ、神経系に働きかけて症状を改善することを目指している。翻訳書にP.リヴァイン著「子どものトラウマ・セラピー」(雲母書房 2010年)、K.ケイン・S.テレル著「レジリエンスを育む」(岩崎学術出版社 2019年)、著書に「自律神経セルフメンテナンス」(非営利活動法人ratik 2014年)、「100%魂のかたち」(ヒカルランド 2017年)、「今、ここ神経エクササイズ」(梨の木舎 2017年)がある。



対象

臨床心理士、支援者、大学院生、大学生(定員60名)

参加費

通常料金12,000円 早割料金10,000円(3月10日までに入金)
学生料金5,000円



HP QRコード

お申込み・お問合せ

NPO法人メンタルコミュニケーションリサーチ 事務局
MAIL: mentalcr@yahoo.co.jp

メールの件名に「3月29日研修会申込」と記載し、メールの本文に①お名前、②所属先、③メールアドレス、④電話番号、⑤臨床心理士番号を記載の上、当団体事務局までお申込みください。日本臨床心理士資格認定協会のWS研修機会申請予定